

東奥日報
2025年(令和7年)6月1日(日曜日) (12)



ハ工大の学生がデザインしたカウントダウンボードを囲み記念撮影する荒谷町長(左から3人目)、学生代表の野田さん(同4人目)ら

国スポ盛り上げに一役

ハ工大生がボードをデザイン

階上

2026年に本県で開催する国民スポーツ大会の自転車ロードレース会場となる階上町は5月29日、同競技開催500日前イベントを道の駅はしかみで行った。八戸工業大学の学生がデザインしたカウントダウンボードの除幕式と階上保育園年長児によるダンスのお披露目があり、開催をPRするとともに「町を挙げて応援しよう」と呼びかけた。

(千葉真由美)

自転車ロード 500日前イベントで披露

国スポ町実行委員会会長の荒谷憲輝町長のあいさつに続き、町関係者と同大感性デザイン学部(以下、感性デザイン)の川俊平准教授、学生代表の野田菜摘さん(同学部4年)が除幕。モニター画面に「あと500日」と表示されたボードが登場した。

モニター画面には選手への応援や町をPRするメッセージを掲げた町民らの写真を日替わりで表示。町実行委は町民参加型企画として、ボードに表示する写真の応募を受け付けている。野田さんは「階上とスポーツの要素を込め、見栄えを考えてボードのデザインを構成した。見るだけでなく写真を応募して楽しんでほしい」とPRした。

カウントダウンボードは町と同大の連携協定の一環で制作。昨年度の同大工学部と感性デザイン学部の3年生約60人が「共創デザイン演習」の授業でアイデアを出し合い、うち6人が企画立案やデザイン、制作を担当した。「みんなでつくる」がテーマで、自転車に乗ったり同町が会場のデモンストラクション競技・フロアボールをしている。ボードは道の駅の売店内に設置している。

※「この画像は該当ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」